

R6 表現問題

表現問題は CD から流れる文章を表現するものが 2 題

①テーマ:「私のおすすめする温泉ランキング」

【通訳場面の説明】

サークルにてメンバーの一人がスピーチをしています。
20 人くらいが輪になっており、正面にはろう者がいます。
そのろう者に向かって手話通訳をします。

みなさん、最近本当にとても寒くなってきましたね。温かい温泉に行きたいですよね。
そこで、私がこれまで行ってきた温泉からおすすめする温泉を 3 つ、ランキング形式で紹介
したいと思います。

第 3 位は、徳島県にある祖谷（いや）温泉です。その温泉は温度がぬるめで、長時間浸か
ることができます。肌がツルツルスベスベになり、とても気持ちいいです。

第 2 位は、東京都の下に位置する式根島の温泉です。その温泉は隣が海です。温泉はとても
熱くてそのままだと入られません。どうやって入るのかというと、隣の海から海水が流れ
込み、温泉と混じり合うことでちょうどいい温度になって入れます。

第 1 位は、群馬県の草津温泉です。東京から車で高速道路を使って約 4 時間の距離にあります。
その温泉はちょっと熱めです。入ると体の芯からポカポカと温まります。
入浴後は疲れが吹き飛んで元気が湧いてきます。

最後に外国の温泉も 1 つ紹介しましょう。ギリシャにあるサントリーニ島です。
ここでは、海がそのまま温泉になっています。
また島を散歩するだけでも非常に心地良いです。

以上、私のおすすめする温泉を紹介しました。

②テーマ：「先人の教え」

通訳場面の説明：

東日本大震災津波伝承館 副館長の講演会です。

会場は地域の公民館で、参加者は30人です。ろう者も数名います。

皆さん「津波てんでんこ」という言葉を聞いたことがありますか。

「津波てんでんこ」とは、「津波が来たら、いち早く各自てんでんばらばらに高台に逃げろ」という、東北三陸地方に伝わる言い伝えです。

これは決して「自分だけが助かればよい」という意味ではありません。

自分の命は自分で守ることに加えて、率先して素早く逃げることで人々に避難を促すことの重要性を説いています。

さらに、自分が助かってしまったという自責の念を軽減するという意味もあります。

「津波てんでんこ」は、これまで幾度となく震災や津波に襲われた体験から導き出された先人の教えです。

地震津波の教訓で、何よりも大切なのは「逃げる」。

これは地震津波だけでなく、あらゆる自然災害に共通することです。

災害の備えとして「津波てんでんこ」を知ってもらうことで、一人ひとりの防災への意識を高めていきたい。

特に次世代の子どもたちにはこれからも強く発信していきたいです。

出典：「東日本大震災津波伝承館 副館長・藤澤修の言葉」を抜粋リライト